

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課	25産業振興課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	8764	事務事業コード	2513
事務事業名	地産地消推進事業				開始年度	平成21	終了年度	平成31
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市地産地消条例		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (1)農林水産業の振興						H26:重点●政策○	－
H27施政方針	1. 人口減少対策 (4)産業の振興 ③ 地産地消の一体的政策						H27:重点●政策○	●
H28施政方針	1. 元気な産業と安定した雇用の創出 (3)販売体制と生産・流通体制の確立						H28:重点●政策○	●
事業概要	第2次地産地消推進計画に基づき、市民・関係機関がそれぞれの役割を認識し地産地消を実践(消費・購買)することで生産者の所得向上と佐渡産品の生産量の確保に繋げる。							
対象	市民(生産者、消費者、事業者等)							
意図 (対象をどのようにしたいか)	地産地消運動としての意識の啓蒙から購買・消費の実践へのシフト。同じ農産物で佐渡産品と他産品が並んでいたとき、多少値段が高かったとしても佐渡産品を選ぶことを実践する。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
地産地消(地産地商)による島内消費の促進	地産地消の市民理解度	—	0.9

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	26年度実績値	27年度(評価年度)		28年度目標値	29年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	佐渡中央青果市場島内産野菜販売(流通)額	百万円	100	100	100	110	120	150
算式	佐渡産野菜流通量÷全野菜流通量							
	市民の地産地消の意味や取組みの理解度	%	80	90	80	90	90	90
算式	理解者数÷アンケート調査数							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H26 決算額	H27 決算額		H28当初 予算額	H29以降の 予算の方向性		重点 細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H26実績値	目標値	実績値	H28目標値	事業の方向性		
1	地産地消推進計画推進評価事業			391	214		617	予算	維持	
	指標	会議開催数	回	14	9	7	9	事業	維持	
2	地産地消推奨店			440	0		0	予算	不要	
	指標	地産地消推奨店加入数	店舗	16	-	20	-	事業	終了	
3	伝統料理普及啓発(レシピ作成)			34	3,114		0	予算	不要	
	指標	レシピ集作成	件	0	1	1	-	事業	終了	
4	地産地消フェスタ事業			1,959	2,033		2,033	予算	維持	
	指標	開催回数	回	1	1	1	1	事業	維持	
5	HP事業			746	652		363	予算	維持	
	指標	アクセス数	回	3972	36500	4592	36500	事業	維持	
6	地産地消推進事業			220	1,604		2,227	予算	維持	
	指標	地産地消の理解度	%	80	90	80	90	事業	維持	
7	地産地消推進計画策定事業			578	0		0	予算	不要	
	指標	計画策定	件	1	-	-	-	事業	終了	
8	学校米飯・米粉パン給食費補助金			4,543	0		0	予算	不要	
	指標	認証米使用量	%	100	-	-	-	事業	終了	
9	地産地消ポイント交換事業			202	301		472	予算	維持	
	指標	ゴミ袋交換数	枚	84	1000	323	1000	事業	維持	
10	野菜・牛肉・鮮魚流通事業			363	241		0	予算	不要	
	指標	新規供給ホテル数	軒	0	2	2	4	事業	終了	
事業費の合計(千円)				9,476	8,159		5,712			
財源内訳				国庫支出金	2,209	1,981		0		
				県支出金	0	0		0		
				地方債	0	0		0		
				その他	2,295	0		0		
				一般財源	4,972	6,178		5,712		

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき	
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策	
1	地産地消推進計画推進評価事業	B	A	C	第2次地産地消推進計画における各団体の取り組み活動について、目標設定、相互チェック・検証をしながら、目標達成にむけての進捗管理を行う。各団体における目標設定について具体的な数字を掲げる必要がある。	
2	地産地消推奨店				→平成27年度からメイド・イン・サドブランド創出事業へ移行	
3	伝統料理普及啓発(レシピ作成)	A	A	A	佐渡市内に伝わる郷土料理レシピ188を収録したレシピ集「さどごはん」を作成したことにより、平成27年度で事業終了。	
4	地産地消フェスタ事業	A	A	B	生産者と消費者を結ぶ交流ならびに啓発促進の場として年1回の地産地消フェスタを開催する。また、11月を「地産地消月間」と定め、地産地消を冠したイベントやポイント交換事業を実施し、消費者の購買行動を助長する。	
5	HP事業	B	C	C	第2次地産地消推進計画を「見える化」し、市民、関係団体へわかりやすく伝えるための情報発信の場とする。また、商品カルテを掲載し、島外業者と島内生産者・加工業者等の結びつきの場とする。	
6	地産地消推進事業	B	A	C	市民への働きかけとして、第1次計画における普及啓発から、購買・消費活動といった実践へシフトすることを契機として、H31年度末における「地産地消の理解度」を100%とする。	
7	地産地消推進計画策定事業				第2次地産地消計画策定により、平成26年度で事業終了。	
8	学校米飯・米粉パン給食費補助金				平成27年度から学校教育課へ移管。	
9	地産地消ポイント交換事業	B	B	A	地産地消月間(11月)期間中の消費者の購買を助長するキャンペーンと位置づけている。参画業者は前年同様(5社)であるが、対象商品を拡大するなどし、期間中の参画業者の売上はいずれも前年同月対比を上回っている。今後も参画業者と対象商品の拡大を図る。	
10	野菜・牛肉・鮮魚流通事業	B	A	A	市内加工業者に鮮魚を加工・冷凍保管してもらい、観光シーズンに佐渡産の魚類をホテル等で提供できるしくみづくりに取り組んだ。2業者をモデルとして3ホテル(1ホテルは廃業)への流通網を構築し、翌年度以降は各自において事業を継続する。	
Action		◆今後の事務事業の方向性◆				
評価(担当課長)		事業の方向性		維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		第1次計画を経たこれまでの事業実施の中で、地産地消を冠したイベントの実施や新商品の開発など、生産者の地場産品の活用や6次産業化に対する意識は着実に変わっている。今後は、地域経済にもたらされるメリットを市民1人ひとりが実感できるよう、市民の地場産品の購買行動を助長する。				